

安心の「社会保障」というけれど…?!

～世代間の壁を越え、ジェンダーの視点から考えよう～



負担を増やして社会保障を少しでも豊かにしようとするのか、負担を少なくして社会保障も減らすのか… ではなくて、

負担を増やして、社会保障を減らすって!?
これって、おかしくありません?

今年の4月から医療費（診療報酬）と介護費（介護報酬）、そして障害者支援報酬の3つが同時に改定されました。介護保険料も4月から殆どの市町村で引き上げられました。年金は、どんどん目減りし、私たちの財布は心細くなる一方です。

昨年度から介護保険の「要支援1・2」の訪問介護と通所介護は市町村の総合支援事業になり、市町村の懐具合によって、じわじわと市町村間の格差が出てきています。

これらのことは、少子高齢化で財源がもたないのではやむを得ない、という説明が多くなされていますが、本当にそうなのでしょうか？若い世代が担う社会保険料負担も年々増加し、非正規労働者の増加で一層、「財源」が厳しくなっています。

全ての人々が人間として尊重され、住み慣れた地域で生を全うするためには、医療・介護・福祉・年金など、1人ひとりの権利として、自らの判断で選択できることが基本です。

日本の社会保障の「今までとこれから」を改めてジェンダーの視点から解きほぐし、今後について高齢者も若者もともに考え、世代間の対立論をうのみにしてよいのか改めて話し合しましょう！是非ご参加ください。皆さまのご来場をお待ちしています。

2018年 **7**月**14**日（土）13:30～16:00
(受付 13:00～)

- 講師：北明美さん（福井県立大学 看護福祉学部／社会福祉学科 教授
専門：社会保障論、社会政策論、労働経済論、ジェンダー論）
- ところ：ドーンセンター（大阪府立男女共同参画・青少年センター） 4F 大会議室①
- 参加費：一般 500円（会員 300円） 定員(72名)になり次第〆切ります。
- 申込先：「高齢社会をよくする女性の会・大阪」事務局（申込用紙は裏面）

主催：高齢社会をよくする女性の会・大阪

事務局 TEL/FAX：06-6762-0550 e-mail：wabas-osaka@mbm.nifty.com

北 明美さん講演会

◆申込書

お名前	ふりがな ()		
ご住所	(〒 -)		
電話 携帯電話	fax	() ()	()
e-mail			
所属・お仕事			

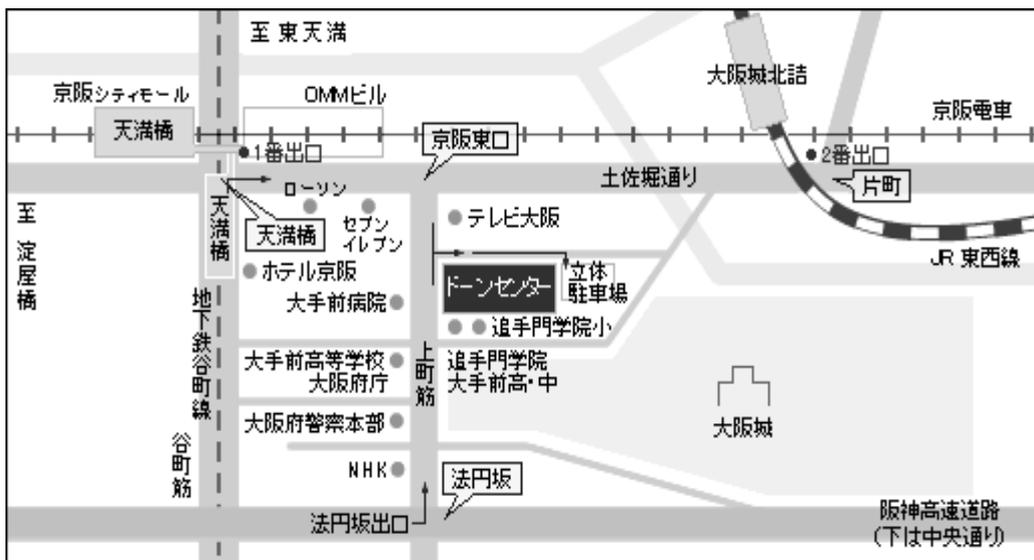
★FAXでお申し込みの場合は、上記の申込書にご記入のうえ
事務局 06-6762-0550 まで送信してください。

※ 定員(72名)満了でご参加いただけない場合のみ、ご連絡いたします

★メールでお申し込みの場合は 必要事項をご入力の上
wabas-osaka@mbm.nifty.com まで。
(ホームページからもお申し込みいただけます)

◆ドーンセンター (大阪府立男女共同参画・青少年センター)

TEL : 06-6910-8500



- ・京阪「天満橋」駅下車。東口方面の改札から地下通路を歩いて1番出口より東へ約350m
- ・地下鉄谷町線「天満橋」駅下車。1番出口より東へ約350m
- ・JR東西線「大阪城北詰」駅下車。2番出口より土佐堀通り沿いに西へ約550m